

Waca.p

和歌山県文化情報誌
ワカピー

Vol.105



- 50年の歴史 和歌山県新人演奏会 … 2・3
- イベントスケジュール …… 4・5
- 和歌山県文化表彰受賞者 …… 6
- 感動発見!文化の「扉」 …… 7
- ピックアップインフォメーション …… 8

若き演奏家達の夢の舞台

和歌山県新人演奏会

50年の歴史と伝統 新たに始まる音楽史



昨年のステージ(2021年11月、和歌山県民文化会館)

和歌山県と(一財)和歌山県文化振興財団が主催する「和歌山県新人演奏会」が、今年50回目を迎えます。半世紀にわたり若き音楽家を発掘し、演奏会を通して広く紹介し続けているこの催しは、和歌山の音楽文化の発展に大きく貢献しています。11月3日(木・祝)に開かれる記念の舞台を前に、歴史と伝統をふり返ります。

演奏家達の特別な舞台

「和歌山県新人演奏会」の初開催は1973年。以来50年間、県民文化会館で毎年開催されています。その目的は、県出身の若き演奏家の発掘と紹介を通じ、音楽文化の繁栄と活力ある地域の発展を目指すこと。50回という歴史と伝統は、「若き演奏家達の夢の舞台」に、より一層の輝きを添えています。

出場できるのは、事前に行われた選考オーディションの合格者のみ。大好きな音楽に出会い、これまで努力した成果を披露できる特別なステージです。舞台上に上った849名の中には、

現在、演奏家として国内外で活躍していたり、指導者の道を歩むなど、新人演奏会をきっかけに音楽との絆をさらに深めた方が大勢います。

第1回から携わり、長年、選考委員長を務めてきた原盾二郎さん(85)は、「50年をふり返り、誇らしい気持ちでいっぱいです。これからも継続して欲しい」と期待を寄せます。近年は出場者のレベルが向上しているといい、「これもすべて続けてきた結果です」と胸を張ります。原さん自身は今年で同演奏会を“卒業”しますが、「若い人が育ち羽ばたく、そんな場であり続けることを願います」とエールを送ります。

節目祝う豪華ゲストも

第50回記念となる今年の新人演奏会は、下記の内容で開催されます。新人演奏家達による演奏は、“新人”の名にふさわしい爽やかな感動を巻き起こすはず。50回の節目を彩る祝賀コンサートもあります。新たな音楽史が始まるステージを、ぜひご体感ください。

長きにわたり、選考委員長を務めた原盾二郎さん。県立田辺高校合唱部や田辺第九の会を全国レベルの合唱団に育てた音楽家として広く知られています。2007年和歌山県文化功労賞ほか受賞多数。



第50回

和歌山県新人演奏会

記念公演

第1部
新人演奏家
による演奏



寺本 華
(声楽)



榎本 早希
(ピアノ)



小切 善貴
(ピアノ)



東谷 咲子
(トロンボーン)



森田 麻友美
(ヴァイオリン)



雑賀 椋太郎
(アルトサクソフォン)

心に残る選考委員のアドバイス



写真: ©Shigeto Imura

クラリネット奏者 南方 美穂さん(31)

同志社女子大学卒。日本クラシック音楽コンクール全国大会などで入賞。関西を中心に演奏活動を積極的に行い、来年4月には初のリサイタルを和歌山城ホールで開催予定。

2,000人が入る県民文化会館大ホール。「中学時代、吹奏楽部の仲間と立ちましたが、ソリストとしては新人演奏会が初めてでした。『後ろまで音が届くのかな?』と心配はあったものの、経験したことで舞台度胸がつけました」



挑戦したのは、大学を卒業した2014年。卒業試験で取り組んだゴトコフスキー『クラリネット協奏曲 III.終曲』で臨みました。「印象深いのが、選考委員の先生方からのアドバイス。奏法、体の使い方、曲の解釈の仕方など様々な角度から講評頂き、音楽をより深く見つめ直す貴重な機会になりました」

50回目の演奏会はまもなく。「出演される方は今のベストを出してもらいたい。聴きに來られる方々には、若い演奏者が持つ可能性やエネルギーを感じてほしい」

わたしと和歌山県新人演奏会

第42回和歌山県新人演奏会に出演し、現在も活躍中のお二人に思い出を語って頂きました

世界的ピアノに教わった



ピアニスト 的場 はるかさん(32)

相愛大学音楽学部卒。現在は子育てをしながら演奏活動行うほか、自らの音楽教室や市立和歌山高校で指導。日本発語音楽アカデミーの発語リズム上級講師資格も持つ。

あこがれの先輩たちが出演した新人演奏会に、リストの『ハンガリー狂詩曲 第12番 嬰ハ短調』で出演したのが24歳の時。「県民文化会館に導入された、世界的に有名なスタインウェイ社製のピアノを弾けるのが楽しみでした」

国際的に活躍するロシアのピアニスト、スタニスラフ・ブーニン氏を選んだものです。「オーディション、演奏会前の練習会、そして本番と3度、弾かせていただく機会に恵まれました。『こんなに色々な音色が出るんだ』とピアノに弾き方を教わったのを覚えています」

そんな歴史ある演奏会に、今年は6人の若手が挑みます。「大きな舞台、当然、緊張されると思いますが、地元の友人や親戚たちに自分の演奏を聴いてもらえる貴重な機会です。ぜひ楽しんでほしいですね」



日時：11月3日(木・祝) 開演13:30(開場12:30)

会場：和歌山県民文化会館 大ホール

スペシャル料金 1,000円(全席指定) 高校生以下無料(要入場券)

チケット好評発売中

和歌山県民文化会館 ☎073-436-1331

主催：和歌山県、一般財団法人 和歌山県文化振興財団

第2部

豪華ソリストと
プロの演奏家たち
による
祝賀コンサート



寺下 真理子
(ヴァイオリニスト)



須藤 慎吾
(オペラ歌手・バリトン)



大阪フィルハーモニー交響楽団 ピアノ五重奏

10月

和歌山県 ダンスフェスタ2022

入場無料



日時:10月30日(日) 開演15:00
会場:和歌山県民文化会館 大ホール

- Studio Staging<スタジオ ステージング>
- 西浜中学校ダンス部
- ダンススタジオ チームパエリア
- 橋本高校ダンス同好会
- Hula サークル Kapalili
- りら創造芸術高等学校
- はじめてのミュージカル体験グループ
- Kumanoサポーターズリーダー
- マルチプライズ
- Bijou Dance Arts
- HOMIES 岩出studio

11月

第50回 和歌山県新人演奏会 記念公演

日時:11月3日(木・祝) 開演13:30
会場:和歌山県民文化会館 大ホール
入場料:1,000円 高校生以下無料
※全席指定(未就学児入場不可)

- 1部 **新人演奏家達による演奏会**
寺本華(声楽 ソプラノ) 榎本早希(ピアノ) 小切善貴(ピアノ)
東谷咲子(トロンボーン) 森田麻友美(ヴァイオリン)
雑賀椋太郎(アルトサクソフォン)
- 2部 **【スペシャルゲスト】第50回記念祝賀コンサート**
寺下真理子(ヴァイオリン) 須藤慎吾(声楽 バリトン)
大阪フィルハーモニー交響楽団 ピアノ五重奏
- ※詳しくは2~3ページをご覧ください

11月~12月

わかふるコンサート2022

入場無料

※1~3の公演は終了しました

4 紀伊風土記の丘 古民家

日時:11月12日(土)
開演13:30

和歌山市岩橋1411
県立紀伊風土記の丘
旧柳川家住宅(重要文化財)



- [春鹿~HARUKA~]角田剛・角田交子(尺八&ピアノ)
- 浅井由貴・今吉咲樹(クラリネット&ピアノ)
- [ふわり♪]中西文子・前山奈美(フルート&ピアノ)

5 紀美野町「動物愛護センター」

日時:11月19日(土)
開演13:30

海草郡紀美野町国木原372
オリエンテーションホール



- [Yalla Yalla Belly] 三崎雅代・柴崎明久・丸谷志保美・吉井幸恵(アラブの太鼓)
- ryo(アコースティックギター)
- 南方美穂・重本千晴・岩崎安美(クラリネット&フルート&ピアノ)
- [G-cube] 坂下公美子・中谷悠子・横山堅司(マリンバ&ピアノ&パーカッション)

6 和歌の浦「県公館」

日時:12月3日(土)
開演13:30

和歌山市和歌浦中3丁目1070-3



要予約
(和歌山県民文化会館)

- 阪口正英(クラシックギター)
- [トワクルール]
- 芝滝順子・新宅一家・反保沙季(クラリネット&サクソフォン&ピアノ)
- [twinkle]宮原夕夏・米澤洋子(ソプラノ&ピアノ)

7 串本「南紀熊野ジオパークセンター」

日時:12月10日(土)
開演13:30

東牟婁郡串本町潮岬2838-3
潮岬観光タワー西隣



- [あんさんぶる~そら~]吉野琴美・北岡佐都伎(ソプラノ&ピアノ)
- 福田浩丈・深谷陽子(チェロ&ピアノ)
- 波木基子・船本真依子(マリンバ&ピアノ)

11月

けんぶん DE 体験教室<受講者募集>

開催日:11月23日(水・祝)
会場:和歌山県民文化会館 会議室等

※申込時に名前・教室名(番号)・住所・連絡先・年齢をお伝えください
※複数教室受講可能 ※定員になり次第締め切り

開催教室

- | | | | |
|----------------------|--------------|--------------|---------------|
| ①歌って♪笑って♪若返り教室 | ⑤新舞踊教室 | ⑩フラメンコ教室 | ⑭日本舞踊教室 |
| ②中高年から始める「らくらくピアノ教室」 | ⑥邦楽家族 尺八体験教室 | ⑪親子ふれあいリトミック | ⑮はじめてのウクレレ教室 |
| ③中国二胡入門講座 | ⑦楽しくマリンバを弾こう | ⑫フルートであそぼう | ⑯はじめてのキッズ・ダンス |
| ④子ども落語ワークショップ | ⑧小物作り教室 | ⑬三味線教室 | ⑰ペン習字教室 |
| | ⑨プータン刺繍体験 | ⑭現代マナー体験教室 | ⑱手作りギター教室 |

11月

辻本好美 尺八コンサート
世界的エレクトーン奏者「神田将」を迎えて
~尺八とエレクトーンが織りなす無限の音世界~

日時:11月26日(土) 開演14:00
会場:紀南文化会館 小ホール
入場料:3,000円 ※全席自由(未就学児入場不可)

好評発売中!!



©Tomohide Ikeya



ホームページ



Twitter



Instagram

主催

- 和歌山県
- (一財)和歌山県文化振興財団

12月

しまじろうコンサート 「サンタのくにのクリスマスレストラン」

日時:12月11日(日) ①開演14:30 ②開演17:30

会場:和歌山県民文化会館 大ホール

入場料:3,480円 ※全席指定(3歳以上有料。3歳未満のお子様は、保護者1名につき1名までひざ上無料)
和歌山県民文化会館での販売チケットのみ特典シール付き

好評発売中!!



©Benesse Corporation/しまじろう

5令和
1月

ウクライナ国立歌劇場オペラ「カルメン」

日時:令和5年1月10日(火) 開演18:30

会場:和歌山県民文化会館 大ホール

入場料:プレミア席 15,000円 S席 12,000円

A席 10,000円 B席 8,000円 (未就学児入場不可)

好評発売中!!

戦禍のウクライナ
首都キーウより
総勢130名
来日決定



5令和
1月

劇団四季「人間になりたがった猫」

日時:令和5年1月11日(水) 開演18:30

会場:和歌山県民文化会館 大ホール

入場料:A席 5,500円(小学生以下 3,300円)

B席 3,500円(小学生以下 2,000円)

発売日 けんぶん友の会優先電話予約/11月14日(月)10:00~
一般販売/11月18日(金)10:00~



5令和
2月

世界で活躍する日本トップピアニスト「才能の共鳴」 スペシャルピアノコンサート

日時:令和5年2月27日(月) 開演18:30

会場:和歌山県民文化会館 大ホール

入場料:A席 5,000円 B席 3,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)

発売日 けんぶん友の会優先電話予約/11月11日(金)10:00~
一般販売/11月21日(月)10:00~



©T.Shimmura
福間 洸太郎



©Ayako Yamamoto
松田 華音



©Seichi Saito
金子 三勇士

5令和
3月

熱狂!ヤヴォルカイ兄弟~華麗なるロマ音楽の世界~

日時:令和5年3月11日(土) 開演14:00

会場:和歌山県民文化会館 小ホール

入場料:4,000円 ※全席指定(未就学児入場不可)

発売日 けんぶん友の会優先電話予約/11月9日(水)10:00~
一般販売/11月16日(水)10:00~



【出演】
アダム・ヤヴォルカイ(チェロ)
サンドロ・クトゥレーロ(ピアノ)
シャンドル・ヤヴォルカイ(ヴァイオリン)

5令和
3月

NHK交響楽団演奏会 和歌山公演

日時:令和5年3月19日(日) 開演15:00

会場:和歌山県民文化会館 大ホール

入場料:S席 6,000円 A席 5,000円

B席 4,000円 C席 3,000円 (未就学児入場不可)

発売日 けんぶん友の会優先電話予約/11月22日(火)10:00~
一般販売/11月28日(月)10:00~



©Roman Goncharov
【指揮】
ウラディーミル・フェドセーエフ



©ND CHOW
【ピアノ】
小山実雅恵(みちえ)
管弦楽/NHK交響楽団



気迫で魅せる伝統芸能

能楽師 **松井 俊介** さん
(まつい しゅんすけ)

1978年、和歌山市生まれ。龍谷大学国際文化学部卒。能楽協会名古屋支部所属。愛知や三重など東海地方を中心に、地元和歌山でも活動中。同じく能楽師で、重要無形文化財総合保持者の松井彬を父に持ち、今年、和歌山市の片男波公園で開催された和歌の浦万葉新能では、演目『舍利』に親子そろって出演し、韋駄天(いだてん)を演じた。

「質実剛健」な芸風を持つ喜多流能楽のシテ(主役)を務めます。アメリカやバルト三国など世界で披露するほか、ヨガと共に楽しむイベントや、カフェで初心者向けのトーク会を開き、能楽文化を広く発信しています。

3歳の時、初めて舞台に立ち、高校卒業後、大阪能楽養成会に入会。1999年にはNHK大河ドラマ「元禄繚乱」に能楽師役で出演しました。2007年から重要無形文化財保持者(総合認定)の長田驍^{おきだけんし}氏に師事しています。

空中をスーッと動いているようなすり足と、喜多流が重んじる、流れるようにしなやかながら、武士のようにドッシリと気迫のこもった型と舞で観客を引きつけます。「能は見る人の人生経験によって受け止め方が違います。具体的に表現せず、面をかけ、感情が読みにくいからこそ、それぞれ

の感想を持てるのが魅力です」

能を見てもらう機会が少ない中でも、「和歌山は將軍家の町。古くから脈々と受け継がれてきた、文化豊かな風土があると思います。もっと能楽を未来につないでいく活動をし、県内における文化活動隆盛の一助になりたいです」と熱を込めます。



『鶉飼』のワンシーン。密漁がばれて殺され、地獄に落ちた男がこの世に化けて現れ、偶然出会った僧侶に助けを求める物語。恨み節のあるものや、舞主体でなく掛け合いのある演目は、演じていて楽しいそう。

和歌山県文化表彰受賞者

和歌山県文化表彰とは、文化の向上・発展に特に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



技術とアートの接点を追求

デザインエンジニア **吉本 英樹** さん
(よしもと ひでき)

1985年、和歌山市生まれ。東京大学大学院航空宇宙工学科、英ロイヤル・カレッジ・オブ・アート博士課程修了。2015年にデザイン会社、タンジェント・デザイン・アンド・インベンションを設立。2020年、東京大学先端科学技術センター特任准教授に就任。2013年にレクサスデザインアワードを受賞するなど、工学とデザインを融合させた作品が国際的な評価を得る。

人が近づくとセンサーが感知して光がともしゆっくり揺れる稲穂のようなライトや、古い太陽電池から切り出した2万個のパネルを貼り付け、地球を表現した直径3・5mのオブジェ——。「技術とデザイン、人工物と自然など、2つの異なるものをつなぐ接点を追求してきました」と話します。

パイロットを夢見て、東京大学航空宇宙工学科で航空機や人工衛星の設計、効率化などを研究。この技術をアートやエンターテインメントの分野で役立てたいと、英国の美大で学んだ後、デザイン会社を設立しました。

エルメス、レクサスをはじめとする世界的ブランドとのコラボレーション作品や、ドバイの世界一高いビル、ブルジュ・ハリファに映像を投影し音楽と連動させたインスタレーションなど、アート作品を次々と展開し、世界中で注目さ

れました。近年はドローンや人工知能といったテクノロジー分野で産学共創プロジェクトを手掛けます。

技術が細分化され、高度化する現代。「技術を解釈した上でデザイナーとして別の視点から新しい活用方法を生み出し、より豊かな未来を示していきたい」。飽くなき挑戦は続きます。



今年3月、高野山の宿坊、恵光院で金箔を使った壁面アート「月輪(がちりん)」を制作。「100年、200年と人間の寿命を超越した歴史の流れがある世界的な場所に、自分の作ったものがかわれるのは嬉しい」

感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介します。知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

ギターピアノ教室 前田

クラシックから入り、ポピュラー、ロック、ボサノバ、フラメンコまで幅広くこなすウクレレも指導する前田敏雄さん。27歳でギター教室を始め、様々なジャンルに対応しながら、「実力あるギタリストの育成」を原動力に取り組みます。一方、桂子さんは生徒の好きな曲に応えながら、レッスン時に自ら名曲を弾き、良さを伝えることで、「時代や国を超えたクラシック音楽のインフルエンサーになりたい」と意気込み十分。2人とも、「楽譜が読めなくても大丈夫。感動できる音楽を楽しんで」と微笑んでいます。

主宰者
前田敏雄さん
前田桂子さん
Profile

敏雄さんは中学1年で「ギターで生きる」と決心。和歌山、大阪でクラシックギターを学び、スペインへも修行に行きました。良質な音楽に触れてきた桂子さんは、音大でピアノを専攻。音楽教室講師を経て、敏雄さんが始めた教室で指導。リトミックも取り入れています。



無料体験レッスン

初めてギター、ピアノ、ウクレレに触れる子どもからシニアまで指導。また、200曲以上の演奏をYouTubeで公開。教室(和歌山市北島506-13)で無料体験レッスンを開催。問い合わせは前田さん☎073-454-9137、HP(<https://maeda-studio.com>)。

ピクシィ アートスクール Pixcy

生徒はほぼ半数が小学生。形にしたいものを一緒に作るスタイルです。楽しんで描いてもらい、教室に作品を展示すると、「子どもは特に、他の人の色づかいを見て、もう一段工夫した作品に変化させます」。さらに、ハロウィーンやクリスマスなど季節ごとに立体物を制作すれば、思いもよぬ発想に驚くことも度々です。また、「賞を取るとやる気が増す」と各種コンクールへ出品を勧めるだけでなく、独自のコンクールも主催。いまは、長年の夢である「CGコース」設置に向け、力を注いでいます。

主宰者
山田裕子さん
Profile

大学で絵画を専攻し、専門学校でグラフィックデザインを教えた後、2010年にPixcyを開校。作品ごとにどんな質感や表現が面白いかを生徒と考え、油彩、アクリル、水彩に身近な材料や素材を合わせ、表現を研究。コースは、進学、一般、小学生、フラワーアレンジメントです。



コンテストを主催

キャラクターデザインコンテスト作品募集。色鉛筆、ペン、絵の具などでキャラクターを創作し、描く。PixcyHPから用紙をダウンロードし応募。12月20日締切。また、教室(岩出市清水503-1)で無料体験を随時開催。詳細はPixcy☎0736-63-5459。

しゅうすいかい 書道サークル 舟水会

大人ばかり50人でスタートした会は、20年以上経ち、今は大人、子どもほぼ10人ずつで活動しています。加納さんは学生時代、漢字を専門にしており、卒業後はかなも習得。希望に合わせ、どんな書でも指導しています。賞をねらうより楽しんで書く人がほとんどで、「みんなが和気あいあいと書く」ことが加納さんのモットー。会員の「紙に書くだけでなく、文字を木に彫りつけたり、銅板に浮き上がらせたりと、色んな書作品を作らせてくれるので、やる気が出る」との声を励みに日々取り組んでいます。

主宰者
加納敬舟さん
Profile

大学で書道を専攻し、卒業後は出版社で書道教科書の編集を7年間。教師として県立和歌山東高校へ赴任した後、1999年に同校開放講座で50人を指導したところ好評で、翌年、講座OBの求めに応じ書道サークル「舟水会」を開設。不定期ながら展覧会も開いています。



東部コミセンが会場

書道サークルは月2回程度、木曜午後6時～8時ごろに和歌山市寺内の東部コミュニティセンター。漢字、かな、隷書、楷書に硬筆と多ジャンルを指導。4～5ヶ月で作品を仕上げられるよう取り組んでいます。問い合わせは神崎さん☎090-9544-7338。

和歌山県第九の会

「市民参加の第九を」と産声を上げ50年。プロ交響楽団と共に全4楽章を年末に披露しています。団員は小学生から90歳代まで、職業も経験も多様。合唱指揮の高瀬優佳さんは「歌を愛し集まった家族みたいな会。ドイツ語なので難しそうですが、練習すれば誰もが歌えます」。花光郁事務局長は、「第九は自由・平等・友愛の意味を込めたシラーの詩にベートーヴェンが曲をつけた人類最高の平和メッセージソング。市民参加に意味がある」ときっぱり。なお、2001年に始めた夏の大会も定着しました。

主宰者
和歌山県第九の会
Profile

和歌山県民文化会館が1970年に開館し、「本格的な演奏会をできる環境が整った」と和歌山勤労音楽協議会(現・和歌山音楽愛好会フォルテ)が中心となり72年末に初の「第九演奏会」を開催。2001年からは主にクラシックの名曲を歌う「夏の大会」も実施しています。



初演50周年記念演奏会

12月18日@午後2時半、和歌山県民文化会館大ホール。ベートーヴェン交響曲第9番全楽章を披露します。チケットSS6,000円、S5,000円、A4,500円。問い合わせは和歌山音楽愛好会フォルテ☎073-422-4225、fortewma@amber.plala.or.jp。

県文会議室

午前、午後、夜間いつでも

1,000円

文化教室や
会議、面接、
勉強会で
大人気!!

全室、有線LAN
フリーWi-Fi(無料)

サービス実施中!
※18名会議室12室対象

県文展示室

みんなの作品で街を元気にしよう!
展示室15%値下

約 1週間 利用で 4万円 [1日約5,700円]

※展示室全4室対象/上記は特設展示室の料金



P 約500台収容の駐車場あり / 40分100円 / 24時間料金600円

ピックアップインフォメーション

片男波公園万葉館

企画展「万葉に集う仲間たち～水彩画展」

10月27日(木)～2023年1月22日(日)
9:00～17:00

※最終日は15:00まで

和歌山で活動している水彩画サークルがグループ展を開催。野外写生した地元和歌山の春・秋の風景作品を中心に、みずみずしさと透明感のある魅力いっぱいの水彩画を展示します。



「伊太郎曾」池端貞子

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553 ㊟9:00～17:00(入館16:30まで)
㊿月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ㊿入館無料

和歌山県立博物館

特別展「濱口梧陵と廣八幡宮」 —法蔵寺・養源寺・安楽寺の文化財とともに— 11月23日(水・祝)まで開催中

「稲むらの火」で有名な濱口梧陵の事績を紹介するとともに、幾度の地震津波に遭遇しながら、今日まで守り続けられてきた広川町広周辺の寺社の文化財を紹介いたします。



和歌山県指定文化財
三彩狛犬 廣八幡宮蔵

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 ㊟9:30～17:00(入館16:30まで) ㊿月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ㊿特別展/一般830円(680円)、大学生520円(410円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

民家ガイドツアー

11月13日(日)13:30～

紀伊風土記の丘にある古民家の内部に入って学芸員の様々な説明を聞きながら見学します。

■費用:資料代+入館料 ■定員15名 ■申込:電話受付のみ(10/28㊟13:00～、先着順)



フシ先生と観る風土記の植物③

11月19日(土)13:30～

紀伊風土記の丘で園内に生息する植物の観察及び解説を行います。

■費用:資料代+入館料 ■定員30名 ■申込:電話受付のみ(11/4㊟13:00～、先着順)

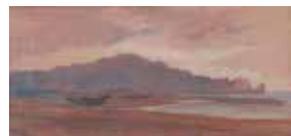
和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123 ㊟9:00～16:30(入館16:00まで) ㊿月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ㊿特別展/一般360円(290円)、大学生220円(160円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県立近代美術館

ニッポンの油絵

11月12日(土)～12月25日(日)

洋画と呼ばれながら日本の絵画とは何かを映し出してきた「油絵」が、この国の美術表現として根付くさまを追います。



神中余子《海岸風景》1888-1892
油彩、キャンバス 和歌山県立近代美術館蔵

コレクション展 2022-秋冬
特集:田中恒子コレクション
12月25日(日)まで開催中

ミティラー美術館
コレクション展
12月25日(日)まで開催中

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 ㊟9:30～17:00(入館16:30まで) ㊿月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ㊿企画展/一般520円(410円)、大学生300円(260円) コレクション展/一般350円(270円)、大学生240円(180円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立自然博物館

講演会「クモの奇妙な世界 ～その姿・行動・能力のすべて～」

11月6日(日)10:00～12:00

クモの多様な種類や行動・生態などをクモの研究者が分かりやすく解説します。

■開催場所:和歌山県立自然博物館 レクチャールーム

■募集対象:小学5年生～一般

■定員30名 ■費用:入館料のみ

■申込方法:電話受付のみ(先着順)。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては中止になる可能性があります。



海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 ㊟9:30～17:00(入館16:30まで) ㊿月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) ㊿一般480円(350円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県内全域で開催

きのくに文化月間

11月1日(火)～11月30日(水)

昨秋の「紀の国わかやま文化祭2021」でわき起こった文化の気運をさらに盛り上げようと、毎年11月を「きのくに文化月間」と定め、県内全域で文化事業を開催します。創設記念イベントはオンライン同時配信も実施します。ぜひご視聴ください。



きのくに文化月間創設記念イベント 11月12日(土)13:00～

■和歌山県民文化会館大ホール(右QR特設サイトからオンライン同時配信)

■会場参加申込は10月21日に締め切りました。

■内容:第1部/表彰式 第2部/和歌山県ゆかりの芸術家によるコンサート

和歌山市小松原通一丁目1 ☎073-441-2052

※各連携事業の開催内容は和歌山県文化学術課HPに掲載



オンライン配信
特設サイト

※——— 表紙のひと ———※

ヴァイオリニスト 寺下 真理子さん
TERASHITA MARIKO



東京藝術大学音楽学部卒業。巨匠アイザック・スタンレー氏の薫陶を受け、五嶋みどり氏と共演を果たすなど、幼少の頃より才能を発揮。第2回東京音楽コンクール弦楽器部門ヴァイオリン最高位。東京フィル、大阪フィル、関西フィル、仙台フィル、日本センチュリー響、九響等と共演。2021年より和歌山で、学生を無料招待する「Home of spiritsコンサート」を開催するなど、地元貢献活動を精力的に展開。現在Nippon violinよりストラディヴァリウスを貸与されている。今冬、SONYより、3枚目のメジャーアルバムをリリース予定。

※本冊子掲載の情報は令和4年10月6日現在のものです。以降、日程変更や中止の場合がありますので、お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。

和歌山アーティストバンク

県内の音楽分野で活躍しているアーティストたちを紹介する「和歌山アーティストバンク」。和歌山県文化振興財団のホームページに開設し、人と人をつなぐ役割を果たしています。登録ご希望の方は、下記までお問い合わせください。QRコードから詳細をご覧ください。



■お問い合わせ

メール: event@wacaf.or.jp

☎073-436-1331 (和歌山県文化振興財団)



Waca.p

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

2022年11・12月/
2023年1月号

令和4年11月発行 Vol.105

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内) ☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/ <http://www.wacaf.or.jp>